

WINDS CAFE 268 in 原宿

# 木下正道とブラームス

2019年4月21日（日） 15:00 開演（14:30 開場）  
カーサ・モーツァルト

Clarinet 岩瀬龍太  
Piano 川村恵里佳

## Program

木下正道: Post-Prae Ludium per B.C.S I (新作)

ヨハネス・ブラームス: クラリネット・ソナタ第1番 作品120-1 (1894)

I. Allegro appssionato

II. Andante un poco adagio

III. Allegretto grazioso

IV. Vivace

木下正道: 不可視の絆の中の絆 III (2018)

-休憩-

木下正道: Post-Prae Ludium per B.C.S II (新作)

ヨハネス・ブラームス: クラリネット・ソナタ第2番 作品120-2 (1894)

I. Allegro amabile

II. Allegro appassionato

III. Andante con moto - Allegro

## Profile

### 木下正道 (作曲)

1969年、福井県大野市生まれ。吹奏楽とハードロックの経験の後、東京学芸大学で音楽を学ぶ。大学入学後はフリースジャズや集団即興、お笑いバンド活動なども行った。2001年度武満徹作曲賞選外佳作(審査員=オリバー・ナッセン)、平成14年度文化庁舞台芸術創作奨励賞、2003年日本現代音楽協会新人賞、などに入選。

現在は、様々な団体や個人からの委嘱や共同企画による作曲、優れた演奏家の協力のもとでの先鋭的な演奏会の企画、通常とは異なる方法で使用する電気機器による即興演奏、の三つの柱で活動を展開する。武生国際音楽祭で出会った作曲家(徳永崇、渡辺俊哉、星谷丈生)とともに、作曲家グループ「PATH」を結成、定期的に演奏会を開催。武生国際音楽祭「新しい地平」アシスタント。ここ数年は年間15曲程度を作曲、初演。

2018年は6月に、若い演奏家の協力を得て全曲初演の個展を東京オペラシティ・近江楽堂にて開催。また9月に、30分を超えるオーケストラ曲が東京で初演された。2019年は5月にドイツでピアノとエレクトロニクスのための作品が、また10月にホルントリオが初演される予定である。その他にも多くの若手演奏家、作曲家たちによる企画に招聘されている。

### 岩瀬龍太 (クラリネット)

桐朋学園大学、同大学オーケストラアカデミーに学ぶ。修了後ベルギーのアントワープ王立音楽院とモンス王立音楽院にて、ワルター・ブイケンス、ロナルド・ヴァン・スパンドクの両氏に師事。これまでに、ピエトロ・アルジェント国際室内楽コンクール第1位。マルコ・フィオリンド国際室内楽コンクール第3位。パドヴァ国際室内楽コンクール第3位。夏期国際音楽アカデミー(ウィーン)においてバルトーク賞を受賞。

2009年より現代音楽専門のアンサンブル・プラティプス・ウィーンのクラリネット奏者。ウィーンモデルン現代音楽祭をはじめ数々の音楽祭に招聘。これまでに100曲以上の新曲の初演をはじめ数々の録音に参加。

### 川村恵里佳 (ピアノ)

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、同大学院修士課程鍵盤楽器研究領域(伴奏)を首席で修了。第11回現代音楽演奏コンクール"競奏XI"にて、審査委員特別奨励賞を受賞。レインボウ21・サントリーホールデビューコンサートに出演。現代音楽の演奏に積極的に取り組み、新曲初演を含む数々のプロジェクトに参加。これまでにハニャン現代音楽祭(韓国・ソウル)、ウィーンモデルン音楽祭に招聘される。2017・19年、ウィーンの現代音楽アンサンブル Ensemble Platypusに客演。2018年1月、現代のピアノ作品によるソロリサイタルを行う。播本枝末子、石井克典、土田英介、山洞智、野平一郎、河内純の各氏に師事。イタマール・ゴラン、高橋アキ各氏のマスタークラスを受講。